

# 災害対応教訓集

～災害対応経験者からのメッセージ～

## 目次

1. 災害時の職員の心構え	1
職員一人一人の使命感・責任感が災害対応を支える	1
2. 参集	2
想定外の状況にも臨機の対応が求められる	2
初動期には参集途上の情報や住民からの情報が有効	3
職員・家族の安否確認を迅速に行える仕組みを	4
3. 交通規制	5
大規模災害時には交通規制に多くの職員を割くことに	5
災害対応に関する法律を把握しておく	6
警察は交通規制の協議もできないほど多忙	7
4. 情報収集	8
概略だけでも第一報は迅速に	8
情報管理のための様式を事前に準備	9
マイクロ回線のダウンを想定し通信手段の多重化を	10
FAX のメリット・デメリットを認識し情報伝達手段を使い分け	11
さまざまな手段を利用し確実な情報共有を	12

<b>5. 情報提供</b> .....	<b>13</b>
<b>所管外道路に関する情報の把握、共有も重要</b> .....	<b>13</b>
<b>マスコミ対応の一元化で効果的な情報提供と負担軽減</b> .....	<b>15</b>
<b>6. 点検・調査</b> .....	<b>16</b>
<b>職員・協定業者・専門家の連携が不可欠</b> .....	<b>16</b>
<b>确实・容易に点検ができる条件整備を</b> .....	<b>17</b>
<b>7. 応急復旧</b> .....	<b>18</b>
<b>防災エキスパートなど現場経験者を有効活用</b> .....	<b>18</b>
<b>工法、作業時間等の選定には周辺住民への配慮を</b> .....	<b>19</b>
<b>震災廃棄物の運搬手段・処分場所をあらかじめ想定・準備</b> .....	<b>21</b>
<b>被災地側の状況を考え支援物資の選定を</b> .....	<b>22</b>
<b>資機材・備品は分散して備蓄</b> .....	<b>23</b>
<b>震後の点検・現場との連絡には渋滞でも動ける二輪車が有効</b> .....	<b>24</b>
<b>8. 応 援</b> .....	<b>25</b>
<b>パトロールカーの効率的運用</b> .....	<b>25</b>
<b>応援は目的意識を持ち自己完結型で実施</b> .....	<b>26</b>
<b>9. &lt;参考資料&gt;</b> .....	<b>27</b>
<b>(1) 参考文献</b> .....	<b>27</b>
<b>(2) 関連法令</b> .....	<b>28</b>